

総合オンブズマン 平成20年度活動状況を報告します

総合オンブズマンは、みなさんからいただいた市政に関する苦情を、市と市民の間に立って公正かつ中立な立場で調査します。その上で、必要な場合は市に意見を述べ、サービスの内容を是正するように勧告したり、制度を改善するよう提言します。

☎ 相談・情報センター ☎ 内線2215

オンブズマン スウェーデン語ombudsman。行政が適正に運営されているか監視したり、市民からの行政への苦情の解決を図る代理人という意味です。

1 月別苦情申立受付状況

区分	受付件数	市内・市外 在住者別		本人・ 代理人別		受付方法		
		市内 在住者	市外 在住者	本人	代理人	来訪	郵送 FAX	電話
平成20年4月	1	1		1		1		
平成21年1月	1	1		1			1	

(苦情申し立てのない月は省略)

2 組織別内容別苦情申立受付状況

区分	受付件数	内容
企画部・健康福祉部	1	乳がん検診時の医師への苦情に対する企画部、健康福祉部及び三鷹市業務委託に係るセクシュアル・ハラスメント調査委員会の対応について
都市整備部	1	自宅前市道の整備について

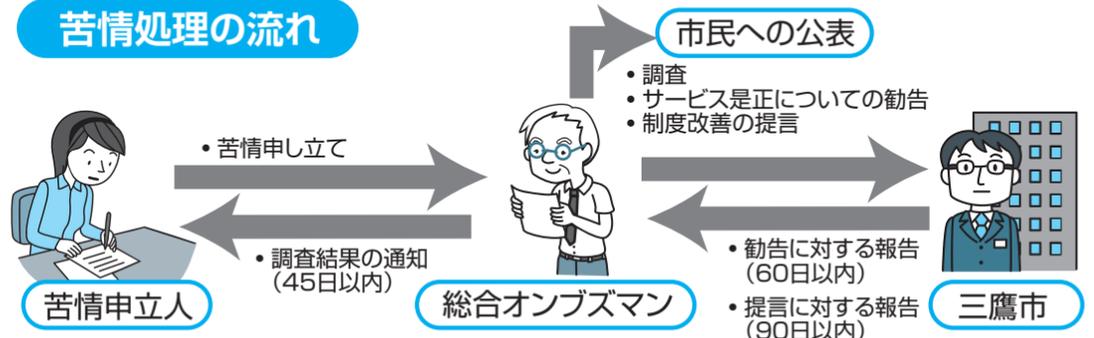
3 苦情申立処理状況

区分	受付件数
1 苦情申立人に結果を通知したもの	2
(1) 苦情申し立ての趣旨に沿ったもの	0
ア 意見を述べたもの	0
イ 勧告したもの	0
ウ 提言したもの	0
(2) 行政の不備がないもの	2
(3) 所管外となったもの(裁判で係争中のものや判決の出たもの、議会に関するものなどです)	0
(4) その他	0
ア 調査することが相当でないもの	0
2 苦情調査を打ち切ったもの	0
3 苦情申し立てを取り下げたもの	0
4 次年度に調査を持ち越したもの	1

※平成19年度から持ち越した案件1件を含む

○平均処理日数 63.5日(45日間と規定されている日数を超したのは、「自宅前市道の整備について」に関して、市道の舗装工事に一定の期間を要し、市の取り組み状況の推移を注視していたため)

苦情処理の流れ



総合オンブズマンからの勧告

総合オンブズマンから市に対し、「乳がん検診時の医師の行為への苦情に対応した市と、この苦情に対応するために設置されたセクシュアル・ハラスメント調査委員会の苦情解決に向けての活動に不備がある」との苦情申し立てに基づく勧告が示されました。

◆勧告内容

◇苦情の解決に向け、申立人に対して市が「男女平等参画相談員」を紹介したものの、相談員から調査経過が報告されなかった点について、今後は「調査開始通知」を発行し、一定期間内に調査結果を通知するよう規定を設けることを勧告します。

◇検診の案内に、より良い検診を目指す文言を掲載するとともに、意見・質問に対する連絡先を明らかにすることを勧告します。

◆市の対応

◇勧告に沿った対策をとることとしました。

総合オンブズマン 相談日のお知らせ

総合オンブズマンの山崎源三さん(弁護士)と加藤恵津子さん(国際基督教大学教養学部准教授)がみなさんの相談に応じます。

☎ 山崎源三さん=6月25日、7月9日・23日、加藤恵津子さん=7月2日・16日・30日のいずれも木曜日午後1時30分～4時30分

☎ 相談・情報センター(市役所2階)

☎ 事前に同センター ☎ 内線2215へ



住民基本台帳の閲覧状況

住民基本台帳の閲覧については閲覧の透明性を高めるため、住民基本台帳法で閲覧者の氏名や内容を公表することが定められています。平成20年4月～9月の閲覧状況についてお知らせします。

☎ 市民課 ☎ 内線2326

請求者	委託者(代表者)	閲覧の利用目的	閲覧日	転記人数	閲覧に係る住民の範囲
NHK放送文化研究所	(社)中央調査社 若林清造	2008年6月全国接触者率調査	4月17日	12人	下5丁目=7歳以上 男女
		平成20年6月番組総合調査	4月24日	14人	井の3丁目=16歳以上 男女
防衛省	(株)日本リサーチセンター 調査部長 大澤秀子	テレビと気分生活時間調査	8月13日	24人	北3丁目=20歳以上 男女
		自衛官の募集に伴う広報	4月16日	322人	下・中=平成2年4月2日～平成3年4月1日生 男女
			4月22日	175人	下・井の・牟=平成2年4月2日～平成3年4月1日生 男女
			4月30日	290人	大・深・井=平成2年4月2日～平成3年4月1日生 男女
			5月8日	225人	牟・北・新=平成2年4月2日～平成3年4月1日生 男女
			5月13日	205人	下・上=平成2年4月2日～平成3年4月1日生 男女
5月27日	42人	上=平成2年4月2日～平成3年4月1日生 男女			
日本銀行	(株)日経リサーチ 代表取締役社長 園本雄司	生活意識に関するアンケート調査	6月13日	15人	井の2丁目=20歳以上 男女
東京消防庁	(株)プラトール研究所 代表取締役 長坂剛	消防に関する世論調査	7月16日	24人	上9丁目・中3丁目=～昭和63年7月1日生 男女
毎日新聞社		健康と高齢社会・時事世論調査	7月18日	16人	大2丁目=16歳以上 男女
国土交通省	(株)日水コン 代表取締役社長 清水慧	多摩川河川環境整備事業に関するアンケート調査	8月19日	49人	市内全域
東京都	(株)エスピー研 代表取締役 安良岡洋介	都民生活に関する世論調査	8月12日	57人	新4丁目・下2丁目・大5丁目=20歳以上 男女
		がん検診実態調査に関するアンケート調査	8月20日	69人	下7丁目=40歳以上 男性・20歳以上 女性
			8月28日	45人	野4丁目・大5丁目・牟4丁目=20歳以上 男女
厚生労働省		男女の生活と意識に関する調査	9月2日	23人	井の2丁目
東京大学医学部附属病院	(社)新情報センター 事務局長 平谷伸次	都民のがん医療に関する世論調査	9月10日	25人	新6丁目
内閣府	(社)中央調査社 会長 中田正博	国民生活に関する世論調査	6月3日	29人	牟6丁目12番～=20歳以上 男女
		男女間における暴力に関する調査	8月27日	24人	井4丁目=～昭和63年9月末 男女
		民法の青年年齢に関する世論調査	7月2日	15人	中1丁目7番～=18歳以上 男女

下:下連雀 牟:牟礼 井の:井の頭 中:中原 北:北野 新:新川 上:上連雀 井:井口 深:深大寺 野:野崎 大:大沢

市民会議の公開状況をお知らせします

市では、市民のみなさんと一緒に開かれた市政を作っていくため、市民を構成委員とした市民会議などを開催しています。これらの会議の状況を広く市民のみなさんにご覧いただくため、平成18年4月から市民会議、審議会などの公開制度が始まりました。

平成20年度に開催された市民会議や審議会は43種類で、延べ開催回数は399回、傍聴者は156人でした(下表)。くわしくは市のホームページ [HP](http://www.city.mitaka.tokyo.jp/) <http://www.city.mitaka.tokyo.jp/> または市政資料室(市役所2階)をご覧ください。

☎ 相談・情報センター ☎ 内線2214

会議の公開制度運用状況(総括表)

区分	会議の数、開催数等	構成比
1 対象とする市民会議、審議会等の数	43会議	100%
(1)公開とした会議	35会議	90.7%
(2)一部公開とした会議	4会議	
(3)非公開とした会議	4会議	
2 会議の開催延べ回数	399回	100%
(1)公開とした会議	147回	40.4% (※96.4%)
(2)一部公開とした会議	14回	
(3)非公開とした会議	238回	
3 傍聴等の状況		
(1)傍聴人の延べ人数	156人	59.6% (※3.6%)
(2)傍聴があった会議の数	15会議	

構成比欄の(※)は、非公開で行われる介護認定審査会(延べ214回)および障がい程度区分判定等審査会(延べ18回)を除いた場合の公開および一部公開の会議開催数の占める割合が96.4%、同じく非公開の会議開催数の占める割合が3.6%になることを示します。